

No.14 ～「食いたい」という想いを叶える為に～

対象者

岩本彩花 西田明美（やすらぎの杜 延寿）

現在の状態

- ・K氏 50代女性 要介護4
- ・左片麻痺.口唇麻痺 胃瘻造設
- ・摂食障害あり
- ・食事は胃婁注入のみ

性格

- ・お世話が好き
- ・気遣いが出来る
- ・カラオケが好き

日中の様子

- ・部屋でテレビや音楽を聴いている
- ・たまに食堂で利用者と会話する
- ・車椅子を自走し運動する
- ・他利用者が食事中は部屋に籠る

本人の思い

退屈だな

寂しいな

楽しみたいなあ

やっぱり、私も食べたいなあ
でも、食べたいけど…何度も試したけどむせるし。。食べこぼしもあるし。イヤ。。

課題

今まで胃瘻注入だったご本人にとって今一番叶えたいことは、「食いたい」という思い。
不安はあるが、この想いを叶える事ができたら、もっと楽しく過ごす事が出来るのでは。。。

そこで

「食いたい」想いを叶える為に、カンファレンスを行った！

取り組み・経過

安全に食べる為には
どう進めたらよいか？

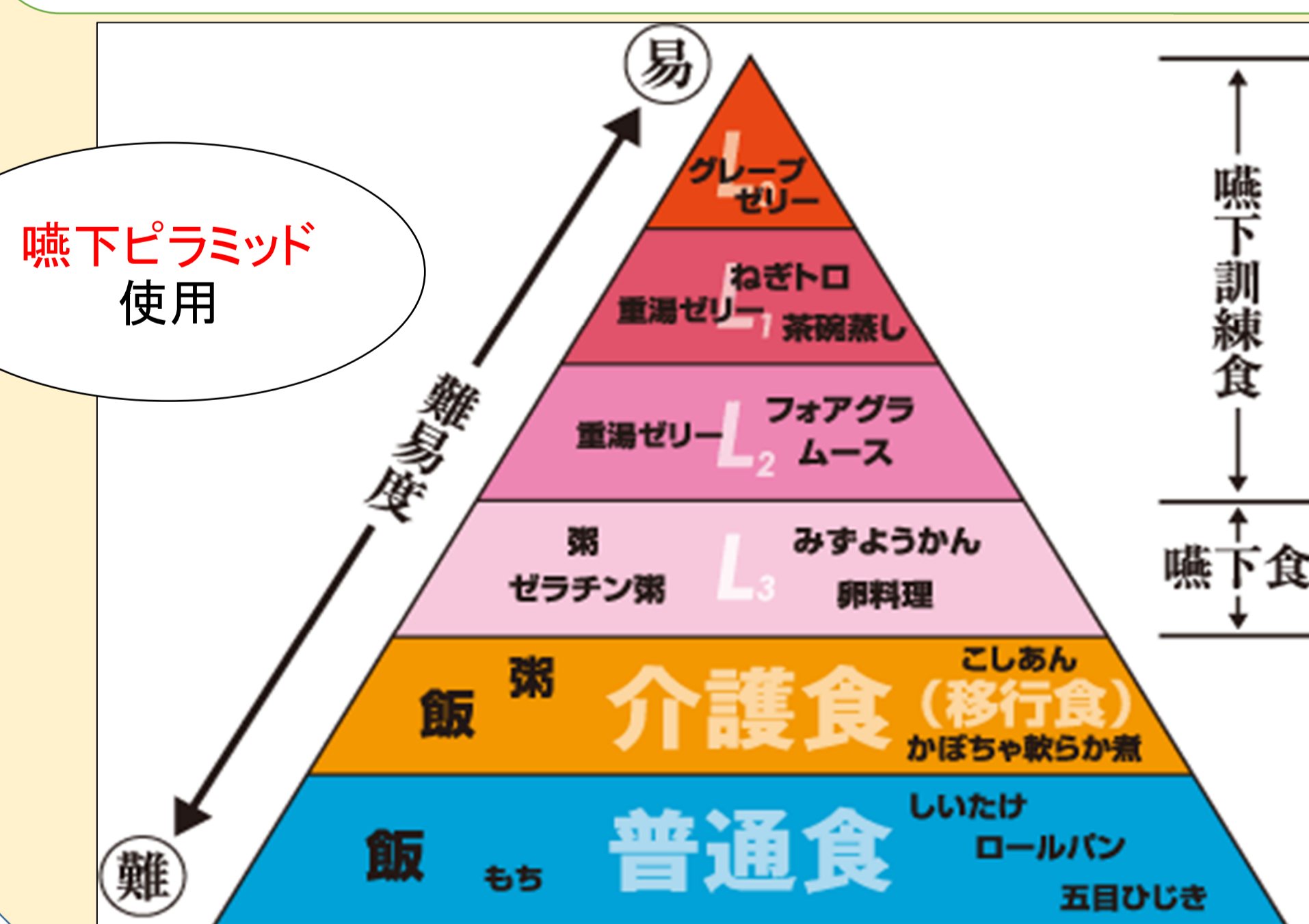
胃ろう注入と経口摂取のタイミングは？

食事姿勢や形態を
栄養士・PT・看護師と相談

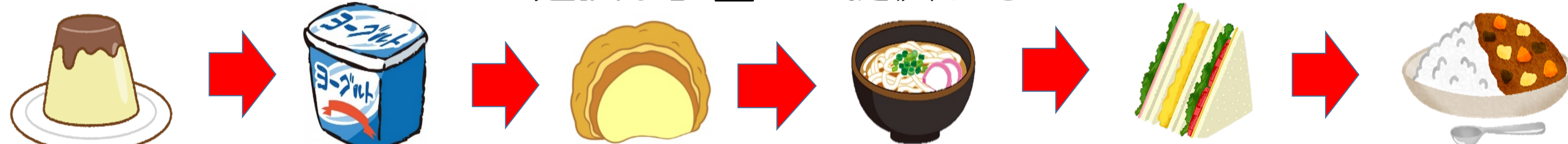
提供内容・タイミングを
K氏・看護師・グループ職員と相談

- ・背もたれの角度を調整
- ・飲み込む時の角度
- ・足の置き場
- ・ムセずに食べやすい形態と摂取量を調整

- ・本人に心地よい経口摂取量と注入量のバランス
- ・胃婁の注入時間と経口摂取時間のバランス



最初は、嚥下ピラミッドを元に形状の柔らかい食品からK氏の好みの物を選択し少量から提供した



摂取時間は40分～50分掛かっているが、市販のゼリーを大きじ2杯しか食べられなかった所、1個召し上がられるようになり量や形状は徐々に上がっていった。現在ではロールケーキ等も1カット食べられるようになった。

結果

少しずつ食べれるようになり、K氏は食べる際いつも美味しいと喜んでおられる。一度にたくさん食べるのはしんどいと仰られるので少量提供し、たしなむ程度に食事を楽しんでおられる。

最初は皆さんと一緒に食事されることを恥ずかしそうにされていたが、今では一緒に空間で食事ができること、美味しいと食事を楽しめることに喜びを感じておられる。またフロアで過ごされる時間も増えたことにより、生活のメリハリができ笑顔が多く見られるようになった！！

今後チャレンジしていきたいこと

- 引き続き、好きな物を好きな量で楽しんでいただけるよう、K氏と一緒に挑戦していく。
- 普段の会話、映画や買い物等の外出機会を通し、職員と関わる時間や楽しみを増やす。